

## 平成26年度 国立吉備青少年自然の家教育事業

### ウーリークラブ～吉備の里山で子育て～

### 年4回シリーズ事業

#### 1. 事業の目的(趣旨・ねらい)

吉備の里山での活動や、講師による子育てに関する講義を受けることで、幼児期の体験活動や基本的な生活習慣を身に付けることの重要性を知る。

#### 2. 事業の概要

##### (1) 期日

第1回	6月22日(日)	日帰
第2回	9月28日(日)	日帰
第3回	11月9日(日)	日帰
第4回	2月21日(土)～22日(日)	1泊2日

##### (2) 対象

幼児(未就学の4,5,6歳児)とその保護者(家族)  
全4回に参加できる方。

※兄弟(小学生)・弟妹の同伴については受け入れ可。

##### (3) 募集定員 10家族

##### (4) 各回参加家族数

第1回	14家族・56名	第2回	14家族・50名
第3回	10家族・36名	第4回	8家族・29名

\* 病気・保護者の勤務の都合のため欠席があった。

##### (5) 講師等

保護者プログラム講師

第1回	岡山県シェアリングネイチャー協会	勝間 光洋	氏
第2回	就実大学大学院人文科学研究科教授	村中 由紀子	氏
第3回	岡山学院大学	講師 三宅 由紀子	氏
第4回	NPO法人 子ども達の環境を考える	ひこうせん	
		代表 赤迫 康代	氏
	ツリーイング指導	遊木皆	

ボランティア	第1回	8名
	第2回	7名
	第3回	7名
	第4回	9名

#### (6) 企画・運営のポイント

- ①子育てに関わる学びを継続して学習し併せて参加家族間の交流を深めることで同志として情報交換・共有ができるように、4回のシリーズ事業として計画するようにした。
- ②幼児をもつ保護者を対象としていることから、参加しやすくするために、乳児の託児を用意したり、小学生の兄弟の参加も受け入れたりするようにした。
- ③宿泊を伴う活動となると、申込みの際のハードルが高くなることが考えられるため、最初の3回を日帰りとし、環境や施設に慣れてから宿泊を実施するようにした。
- ④第1回目で家族のシンボルとなる木（ファミリーツリー）を決め、毎回観察をしたり、その近くでの体験活動を設定したりすることで、季節や生命の成長を感じたり次回もウーリークラブに来たいという意欲を高められたりするようにした。
- ⑤子どもの育ちに大切な「心」と「体」の発達をテーマとした講義や自然体験活動を計画するようにした。
- ⑥第4回目は、保護者からいただいた講義内容のリクエストを検討し、講義のテーマ・講師を選定することで、参加者の学習ニーズにより応えられるようにした。
- ⑦第4回の最後に、ウーリークラブでの学びや体験したことを共感したり参加者の絆を深め次年度のウーリークラブへの参加を促したりするために、全員の感想を共有できる機会を設けるようにした。

### 3. 活動の内容等

#### (1) 第1回

6月22日(日)		
9:30	受付	○ 体験講義 「飛び出せ自然探検隊 —自然体験の大切さ— 講師：岡山県シェアリングネイチャー協会 勝間 光洋氏  ○ 子どもプログラム 自然と親しむ活動(めだまっち) 指導：当施設 企画指導専門職
10:00	はじめましての会	
11:00	きびを探検しよう	
12:00	お弁当	
13:00	ファミリーツリーを探そう	
14:00	体験講義・託児別プログラム	
16:00	またねの会	



【はじめましての会】



【ファミリーツリー】



【体験講義：ネイチャーゲーム】

#### (2) 第2回

9月28日(日)		
9:00	受付	○ 保護者プログラム 講義「子どもの心を育てる環境づくり —感情体験の大切さ— 講師：就実大学大学院人文科学研究科 教授 村中 由紀子 氏  ○ 子どもプログラム 森の宝物さがし 指導：当施設 企画指導専門職
9:30	おひさしぶりの会	
10:00	保護者・子ども・託児別プログラム	
12:00	昼食	
13:30	ファミリーツリー	
14:15	森で遊ぼう	
15:15	またねの会	



【子どもプログラム：森の宝もの】



【ファミリーツリー】



【森であそぼう】

(3) 第3回

11月9日(日)		
9:00	受付	○ 保護者プログラム 講義「食育で育てる心と体」 講師：岡山学院大学 講師 三宅 由紀子氏  ○ 子どもプログラム 森のお弁当作り 指導：当施設 企画指導専門職
9:30	おひさしぶりの会	
10:00	講義 第1部	
10:30	講義 第2部 子ども・託児別プログラム	
12:00	昼食	
13:00	野外クッキング	
15:15	またねの会	



【講義 第1部】



【子どもプログラム】



【野外クッキング】

(4) 第4回

1日目 2月21日(土)		
10:00	受付	○ 保護者プログラム 講義・実習： 「子どもと一緒にパパママを楽しもう」 講師：NPO 法人子ども達の環境を考える ひこうせん 代表 赤迫 康代氏  ○ 子どもプログラム 冒険ハイキング 指導：当施設 企画指導専門職
10:30	おひさしぶりの会	
11:00	親子自然体験活動 (ネイチャーゲーム)	
12:30	昼食	
13:30	荷物移動・宿泊準備	
14:30	保護者・子ども・託児別プログラム	
16:30	休憩	
17:15	夕べのつどい・夕食	
19:30	選択活動〔天体観察, 読み聞かせ, 入浴・就寝〕	
20:00	入浴	
21:00	就寝受付	

2日目 2月22日(日)		
6:45	起床・荷物整理	○ロープクライミング 指導：遊木皆
7:45	朝のつどい・朝食・移動	
9:30	ロープクライミング ネイチャークラフト	
12:30	昼食	
13:30	ウーリークラブのふりかえり	
14:30	またねの会	



【ネイチャーゲーム】



【子どもプログラム】



【保護者プログラム】



【ネイチャークラフト】



【ロープクライミング】



【ウーリークラブふりかえり】

#### 4. 成果・課題

##### (1) 成果

###### ○ 参加者（保護者）の満足度

事業全体の満足度は100%であった。

###### ○ 講義と活動を関連付けることにより、一日で理論と実践ができ、家に帰ってからも、学んだことを生かして活動できたようである。

4回の活動をとおしての保護者の感想には、「育児について、家族の在り方や父親・母親の在り方を学びました。」「食事について気を付けていたつもりでしたが、見落としている視点があり、良かったです。買い物も、野菜や果物の名前を教えたり、どうやって作られているか一緒に調べたりなど子どもと向き合って行きたいです。」や、「昨日までできていたことが今日はできないと『どうして?』ともどかしくなりますが、そんな子どもを受け止めて、抱きしめてあげると、次からまた子どもは頑張れるということを学びました。」と今までの子育てをふりかえり、これからの子育てに生かそうとする意見をたくさんいただいた。

###### ○ 吉備での自然体験活動を楽しむことで、家族の今後の生活に自然体験を積極的に取り入れていこうとする姿勢がうかがえる。

例えば「自然にふれると、子どもたちは笑顔になるので、なるべく外遊びをするようにしています。」や「木の実を拾って一緒に工作などをしています。今度は、クッキングをしようと思います。」といったエピソードをいただいた。

また、「身近にある自然に目を向けて見るようになった。子どもも『月がきれい』とか、『鳥の鳴き声がある』など自分たちで気付いたり発見したりするようになった。」や「子どもと何かを一緒に見つけたり一緒に考えたりするようになった。」と子どもたちの自然への関わり方や保護者の子どもとの関わり方の変化を実感しているエピソードもいただいた。

- 同じメンバーで4回実施をとおして参加することで、参加家族間の交流が深まった。保護者と幼児とが別活動を行っても、幼児同士で協力し励まし合いながら活動に取り組んでいた。「友達ができてうれしかった」などという声も聞かれた。また、シリーズを通じて参加できたボランティアが多くいたことで、参加者の不安感を取り除き、安心して子どもプログラムに参加させることができたり、参加者が施設の使い方について気楽に質問することができたりした。また、家族間の仲が深まり「みんなで子育てをしている」という感情を育むことができた。

## (2) 課題

- 3回目では、雨天の為、ファミリーツリーを観察する活動を中止したが、参加者の残念がる声が大きかった。雨天でも、ファミリーツリーを観察できるような仕掛け作りを模索していきたい。

\* ウリソツクラブ・・・P47参照

担当：企画指導専門職 飯石 浩二